



東映創立60周年記念作品
「北のカナリアたち」
 ～利尻島ロケ風景より～

東映創立60周年記念作品
 映画「北のカナリアたち」は
 2012年11月3日(土・祝)
 全国公開です



写真左:阪本順治監督 写真右:木村大作カメラマン

©2012「北のカナリアたち」製作委員会

議会だより



第4回定例会

- 予算審議
 平成23年度利尻富士町一般会計補正予算など
 2～3
- 一般質問
 鬼脇地区への救急搬送車輛の配備についてなど
 4～6
- 行政報告
 東映60周年記念映画「北のカナリアたち」の
 製作発表について 6
- 委員会レポート
 平成23年度建設事業(工事関係)の進捗状況調査
 など 7

平成24年 2月

NO 154

第4回定例会

●会 期 12月16日
●出席議員 9名

第4回定例会は、町長提案の各会計補正予算、条例の一部改正など6件の議案を審議し、原案どおり可決しました。

また、一般質問では2人の議員が行政執行についての見解を質しました。

補正予算

平成23年度一般会計補正予算は、2億683万5千円を追加し、総額は44億8千967万5千円となりました。補正の主な内容は、要介護者地域支え合い体制基盤システム購入費、利尻富士町観光協会補助金、減債基金積立金などです。

また、平成23年度下水道事業特別会計は、464万6千円を追加し、総額は2億8千41万9千円、介護サービス特別会計は、6千315万8千円を追加し、総額5億2千6万8千円となりました。

【追加した主な事業】

生活交通路線維持補助金	269万8千円
要介護者地域支え合い体制基盤システム購入費	493万5千円
介護サービス特別会計繰出金	6千297万1千円
利尻富士町観光協会補助金	687万7千円
減債基金積立金	1億1千700万円

質 疑

●黒川議員 要介護地域支え合い体制基盤システムの概要について説明願います。

▲福祉課長 実施中の高齢者の実態調査の結果をもとにして、要介護者又は特定高齢者の分析、所在地情報状況等をマップ化するシステムを購入する事業です。マップ化後に民生委員や地区の福祉推進員、ボランティア団体等と連携の上情報共有し、日常生活上、災害時に支援を必要とする高齢者の支援ができる体制づくりを行うものです。

●黒川議員 北麓野営場、ファミリリーキャンプ場の使用料収入は？

▲産業建設課長 北麓野営

場については50万6千円で当初予算より6万4千円の減額、ファミリリーキャンプ場は447万2千円で当初予算より85万8千円を減額しています。



●俵谷議員 保健衛生費の臨時職員賃金の補正内容と保健職員の採用について説明願います。

▲福祉課長 保健師1名の退職により給料を減額し、保健師に代わる臨時の職員として看護師の採用による追加補正です。

▲副町長 3月で保健師1名が退職したので保健師を

採用することで給料を計上していましたが、保健師試験に合格しなかったことから看護師を保健師の助手として採用しました。合格後は正規の職員として採用する予定です。

●藤井議員 観光費で観光宣伝費を減額し、修繕料を追加補正していますがその内容を説明願います。

▲産業建設課長 観光宣伝費では本年度ストラップの製作を予定していましたが、デザインを変えて別なものを考えていますので減額し、修繕料については南浜湿原バイオトイレのコントローユニットの故障による交換費用と、観光モニユメントが経年劣化により危険な状態にあることからの撤去費用です。

●藤井議員 観光協会補助金の追加補正内容について説明願います。

▲産業建設課長 クーポン券では3千円券、1千円券の合計で3,661枚の利用があり、金額では412万6千円の事業となりました。北宗谷の関係では、ANAのタイアップもこの中に含まれており、35日間で

3, 640席の増という結果になりました。経費負担額は、利尻富士町200万円、利尻町200万円、礼文町400万円、稚内市2千500万円となっています。

●黒川議員 老人保健施設、秀峰園において島外から採用された職員数と住宅事業について説明願います。また、新築する職員住宅の完成用途は？

▲秀峰園園長 島外からの職員は、秀峰園では3名で3名とも町営住宅に入居しており、老人保健施設では3名で職員住宅が1名、町営住宅に2名入居しています。

▲副町長 予算議決後に設計を委託し、今年度中に完成を予定しています。

討論Ⅱ賛成Ⅱ

◎介護サービス特別会計補正予算(第1号)

黒川議員 島外から6名の方が利尻富士町の福祉の現場で福祉を支えていることは非常に敬意を表します。鬼脇地区は老人保健施設、秀峰園の福祉施設を抱えて

いて我が町の中で福祉の拠点といえる地域であると思っております。福祉というのは肉体的な労働は勿論のこと、心のケアを含めて非常に厳しい労働条件にありまので、島外から来られる方々のモチベーションも含めて住環境を整備することは重要なことであります。縁があつて来てくれた人達がこれから当町の町民とし

【用語解説】～討論とは？～

議会の会議において、表決の前に議題となっている案件に対し、質疑の終了後、賛成か反対かの意見を表明することをいいます。



ても、これからもこの町で働きたいという思いを持ってもらう意味でも、住環境を労働条件の一つとして捉え、職員住宅を整備することに賛成します。

専決処分

▽職員給与に関する条例の一部改正の承認を求めること

〔内容〕

人事院勧告に基づき、職員の給与に関する条例の一部改正を11月28日に町長が専決処分したもので、給料表改正により給料月額を引き下げなどを平成23年12月1日から施行するためです。給料月額引き下げ対象は、40歳代後半から50歳代の職員です。(原案承認)

条例制定・改正

▽利尻富士町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の制定

〔制定内容〕

過疎地域自立促進特別措置法が平成28年3月31日まで延長されたことにより、法の規定に基づき固定資産

税の課税免除の特例に関する条例を定め、引き続き当該固定資産税を免除する措置を実施するものです。

●俵谷議員 課税免除の中に新設若しくは増設とありますが、改造は対象となりますか。また、土地の権利関係で借地の場合は適用になりますか？

▲総務課長 新設若しくは増設での増設は面積を増やした場合のことであり、内部改修にあたる改造は該当しません、また、土地については本人の所有でないものには固定資産税は課税されませんので、本人の土地が対象となります。(原案可決)

▽利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正

〔改正内容〕

税制の整備を図るため地方税法の一部が改正されたことにより、寄付金の税額控除適用下減額の引き上げ、個人住民税などの不申告など(脱税犯)に関する過料の上限を引き上げるなど町税賦課徴収条例の一部を改正するもの。(原案可決)

報告

▽教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告

〔内容〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、平成22年度教育行政執行方針の施策に基づいた学校教育、社会教育の事業の実施、施策の点検・評価が議会に報告されました。



教育長の報告

一般質問

俵谷芳光議員

鬼脇地区への救急搬送車輛の配備について

今の厳しい財政運営の中では難しい

議員 入院措置を行う国保中央病院にあっては、緊急外来は救急搬送でなければ受け付けないとの方針が定められていると認識しているところですが、高齢化が進んでいる状況にあって、老々家庭、高齢者独居家庭、介護を必要とする家庭が増加している今日、急病は時と所を選べず救急車の要請に頼らざるを得ません。特に鬼脇地区は、救急搬送先の国保中央病院からは最も遠い地域であり、現行の搬送体制での、救急車要請から搬送先病院到着までの所要時間は、町民の生命の維持に関わる重大な問題として捉えざるを得なく、救急救命対策を急ぐ必要があると判断するところであります。町民の生命を保護することは何物にも代えがたいものであります。地域の実態を十分に熟慮され、鬼脇地区に救急搬送車輛の配備を早急に実現すべきであると考えますが、町長の見解を尋ねます。

町長 鬼脇地区は国保病院まで搬送する場合には中間地点にあり、一刻を争う救急患者やご家族の心情を察

するとき、所要時間の短縮は生命を守ることから重大であるとして認識しています。これまで覚知から現場までの所要時間は14分から31分の実績となっておりますが、本町では地理的な事情を考慮しながら鬼脇地区に限って、消防ポンプ隊と救急隊の連携をいち早く取り入れて実施しております。利尻富士支署の体制については、職員全体18名のうち16名で消防救急業務を遂行しており、勤務体制は当直が24時間勤務のため、支署4名、分遣所2名、空港分遣所4名の日中10名の勤務体制を整えており、1台配備されている救急業務体制は、人員を可能な限り1名確保して4名体制で救急業務に対応している状況にあります。鬼脇地区に救急車輛を配置した場合には、2台目の救急自動車の配置には消防力の基準から補助の採択が難しい状況にあること、24時間勤務体制から、消防・救急業務が重複することを考慮しなくても、職員を最低10名から12名の増員を図って対応しなければならぬのは事実であり、その人件費、

車輛整備事業費、住宅建設事業費は単独となります。救急自動車を増車して救急業務を充実することは地域事情、人命の尊重ということから十分認識しておりますが、厳しい財政運営を余儀なくされている状況の中では、救急自動車を鬼脇地区に配備し救急業務を拡大することは、財政上も相当厳しいのではないかと思っています。

議員 救急車要請から搬送先である国保中央病院までは、医師の医療措置を勘案しても90分もかかっていることは、生命の保護からは重大な時間ロスだと考えます。住民の生命を保護すること、地域的な格差を感じている問題を解消することは、展開すべき重要な行政施策であり、人命と金額を秤にかけているような手法を感じましたが、行政の施策の効果として福利の享受は平等であるのが原理・原則だと思えます。救急自動車1台につき3人とする法律の規定があるわけですが、救急搬送だけとすることで、24時間体制を臨時的体制としての扱いや、消防団

員の活用など臨時的対策などとして行政が知恵を絞って、病院に搬送する救急搬送対策を講ずることはできないのか。

町長 決して人命と財政を秤にかけているわけではありませんが、施策を講じるようになれば財政負担が生じますし、財政力がなければそういう施策も講じられないということになります。人命といえども、福祉や教育や色々な面でバランスをとりながらやっていかねればならないのが行政だと思っております。行政運営上、今の財政状況では難しいというところをご理解願います。救急自動車1台には3人とすることが法制度化されていることから、消防団員の活用も含めて、救急車を出した、乗せたという責任問題も出てくることも考え合わせれば、今の段階では難しいということをご理解いただきたいと思います。

前田 芳久 議員

町発注建設工事の入札執行状況について

最低入札価格と予定価格の差があまりにも大きいため不調とし、指名業者を入れ替えて再度入札した

議員 今年度発注した工事の指名競争入札において、入札を執行した結果落札に至らず、指名業者を変更して再度入札を執行したが、結果これも落札に至らず、入札不落に至った経緯がありますが、この二度にわた

る指名競争入札の執行が入札不落という結果になったことの要因について見解を尋ねます。

町長 入札不落の結果と要因については、今回は補助・交付金事業という関係もあり、設計業者に設計を依頼し設計金額を確定し予定価格を設定しまして、事業を入札・執行するための手続きはこれまでと変更することなく実施しました。1回目の入札執行では5者を指名し入札を執行しましたが、最低入札価格が予定価格との差額が大きいということから、話し合いによる随意契約は無理との判断のもと、再度新たな業者5者を指名して入札を執行したが、その再入札も不落になったことから最低入札者と話し合いにより随意契約を締結しましたが、要因については、北海道単価と業者の見積価格に差異があったこと、経費の二重計上があったことが見積価格との突合時に判明し、業者も納得して随意契約を締結できました。

議員 指名競争入札は町が業者の資力・能力・信用性などを検討し業者を指名しています。町が認め信用した指名業者が二度にわたる入札に10者が臨んでも不落になりましたが、なぜ予定価格と入札額との間に莫大な価格の差がでるのか疑問を感じます。設計金額と予定価格の間において何らかの調整が行われているのかどうか、公共性のある工事であり工事自体に町民の方々が関わることであり、積算の段階から再検証の必要があると考えます。

副町長 1回目の入札については予定価格と応札した入札価格があまりにも差があり、どんな協議をしても契約はできないと判断し、入札をしてくれた5者をすべて入れ替えて、新たに5者を選定し入札を行ないました。設計価格の設定については、補助事業でするので北海道の単価を使用し、北海道の単価にないものは設計業者と相談の上実勢単価をもって設計しています。町が低く設計を見積りしていることはありません。

町長 設計価格と予定価格との間の調整はしておりません。設計金額を尊重し予定価格としています。

前田 芳久 議員

町営住宅の入居希望者の推移と今後の対策について

町営住宅の新築は当分の間控える。住宅難は教員住宅、職員住宅などの活用により解消したい

議員 現在町営住宅の入居希望者は鴛泊地区では34件、鬼脇地区では4件であり、この入居希望件数は3〜4年前よりも増加しているものと認識しています。この入居希望件数においては、特に鴛泊地区では住宅難の

状態にあると判断されるのでありますが、これまでの町の方針や現状から判断すると、この住宅難を解消することは見込めない状況にありますので、何らかの施策を講ずる必要があると考えますが、町長の見解を尋ねます。

町長 今後の対策では、「尻富士町公営住宅等長寿命化計画」を策定しており、現状と課題を把握するための調査・分析を行って公営住宅等の課題克服についての方策をまとめ、建て替え・改善などのストック総合活用計画を検討し、長寿命化に関する維持保全計画や公営住宅等の有効と効率的かつ円滑な更新が図られるよう検討している段階です。公営住宅の現況は22年度末で管理戸数308戸で空き家戸数は27戸となっていますが、入居者の事情で解体することができない政策空き家となっています。また、公営住宅の収支については、公営住宅使用料が入居者の収入によって落ち込んでおり23年度では1千550万円の収支不足が出ている状況で、これからも補修費が

多くかかることが予想され、新築することで一時的に収支が改善されますが、現在でも一般財源を投入して維持管理を行っていただきますので、年数が経過することで住民の血税が多額に投入されることや、人口が減少することなどが予想されることから、新築はしばらくの間は控えるのが懸命であると思います。住宅難の解消という点では、教員住宅の活用、職員住宅の新築、民間企業の従業員宿舍の確保の計画の中で、住宅難の解消が図られるよう努力します。

議員 入居希望者の中には、単身者の方々もいますが、単身者向けの住宅の建設計画はどうか。また、空き家となる教員住宅については、地元に住みたいという希望のある方がいますのでこの対応についても検討されたい。

町長 単身者住宅については法的な関係もありますが、これからの建設計画の中で検討したい。また、教員住宅については町に移管できるものは移管していただくことで、町民に提供できることは可能だと思います。



行政報告

第4回定例会において、町長より「利尻空港の利用状況について」ほか2件について行政報告がありました。

◎利尻空港の利用状況について

9月の利尻〜千歳間は往復で3千29人、搭乗率59・2%。10月からはHAC便（丘珠〜利尻〜丘珠）となり、往復で913人、搭乗率42・3%。11月は往復で725人、搭乗率33・6%となっております。

◎東映60周年記念映画「北のカナリアたち」の製作発表について

11月29日東京で「北のカナリアたち」の製作発表が行われ、主演女優の吉永小百合さんをはじめオールキヤスト・スタッフが決定しました。柴田恭兵さん、仲村トオルさん、里見浩太朗さん、森山未來さん、勝地涼さん、松田龍平さん、満島ひかりさん、宮崎あおいさん、小池栄子さん、という皆さんご承知の豪華キャストであり、監督は阪本順治氏、撮影・木村大作氏、原作・湊かなえ氏、脚本・那須真知子氏のスタッフとなっております。特に、天使の歌声を持つ子役のオーディションでは約3,100人の中から6人のカナリアたちが選ばれ、その1人

は、北海道からただ一人しか選ばれていない子役（女の子）であり、その母親が本町出身であることは何かの縁ではないかと思っております。

◎叙勲、大臣表彰、知事表彰について

今年は例年になく叙勲受章、大臣表彰、知事表彰を受けた方が多い年で、叙勲受章が5名、大臣表彰が個人2名、団体1団体、北海道社会貢献賞が2名となっており、町としてもその名譽は誇りであり、受章された皆様には心からお祝いを申し上げます。長い間、本町の発展・振興のために献身的にご貢献をいただき、その功績が認められたことを心から感謝とお礼を申し上げます。



質疑・質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局にお問い合わせ下さい。

委員会レポート

12月2日 総務民教産建常任委員会

常任委員会では、議会閉会中継続調査として、平成23年度建設事業（工事関係）の進捗状況調査外1件について調査しました。調査報告は次のとおりです。

意見書

修工事においては、施設の原型復旧が基本原則であり、原型を変えることは再検討を要するものと判断される。

◎環太平洋経済連携協定に反対する意見書

◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級・複式学級解消」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2012年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

◎2012年度「公立高等学校配置計画」の撤回・再考を求め、地域や子どもの実態に応じた高校づくりを実現する意見書

◎住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書

※この意見書は原案のとおり可決し、関係行政庁へ送付しました。

1 平成23年度建設事業（工事関係）の進捗状況調査

ペシ岬遊歩道整備工事については、来春融雪後に現地を再確認する必要がある。

2 町有財産（公共用財産）の管理運営状況

利用実績の少ない総合交流促進施設北のしーま体験学習室は、地区の組織などと連携を図り、配備されている教育的資材・機器の活用による利活用の対策を講ずる必要がある。町文化財に指定されている施設の改

議会改革特別委員会報告

第3回特別委員会からは議会改革に関わる具体的な改革案についての調査・検討に入りました。

新たに設置された広報広聴特別委員会での決定事項、議論中の調査・検討事項は次のとおりです。

「議会だより」の編集方針を決定しました

- ・親しみやすい、読みやすい、信頼される編集に努める。
- ・中・小見出しを活用しわかりやすい紙面構成とスペースの確保に努める。
- ・質疑・質問の要旨を損なわない範囲で要約して掲載する。

議論中の調査・検討事項

議会報告会、町民との意見交換会の企画立案について

議会改革特別委員会での調査・検討事項の議論の経過は次のとおりです。

●議場（本会議）、委員会での説明員について

本会議及び委員会開催時の説明員の出席要求に係る対応窓口を一本化することで、執行機関と協議することに決定しました。

●議案の配付、説明書の提出について

配付（提出）時期は、従来先例による事実関係として議会運営委員会の前日とされていましたが、不確実要素があることから、当初予算審議議会（3月）での執行方針、議案、一般質問通告時期などを含めて執行機関と協議することに決定しました。

●質疑・質問についての調査・検討では

現行の一括質疑方式と一問一答方式などこれからの質疑・質問のあり方について議論を進めています。

12月

- 1日 第1回広報広聴特別委員会
- 2日 総務民教産建常任委員会
- 4日 歳末チャリティー演芸会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 自由民主党北海道第12選挙区支部宗谷管内ブロック協議会定期大会・自民党政経セミナー並びに自民党移動政調会（稚内市、議長）
- 16日 第4回定例町議会
- 19日 利尻郡清掃施設組合議会
- 20日 利尻郡学校給食組合議会
- 20日 利尻礼文消防事務組合議会
- 22日 利尻島国民健康保険病院組合議会
- 26日 防犯啓発イルミネーション点灯式（議長）
- 30日 利尻島振興公社臨時株主総会（議長）
御用納め

1月

- 1日 利尻山神社歳旦祭
- 3日 北見神社歳旦祭
- 4日 平成24年成人式
- 5日 消防団出初式
- 6日 御用始め
- 8日 鬼脇老人クラブ潮流会新年交礼会
- 〃 消防団活性化事業
- 14日 篤泊老人クラブ和友会新年会
- 17日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市、議長・局長）
- 27日 観光協会新年会
- 31日 第2回広報広聴特別委員会

2月

- 5日 篤泊婦人防火クラブ防火の集い
- 6日 商工会優良従業員表彰式（議長）
- 10日 第3回議会改革調査・検討特別委員会
- 17日 総務民教産建常任委員会

議会に請願(陳情)される方に

1. 請願書（陳情書）は下記の様式に準じ邦文で作成して下さい。
2. 請願書には、町議会議員の中から1名以上、紹介議員として署名または記名押印を受けて下さい。
3. 請願・陳情はいつでも受付けております。
4. その他不明な点については、議会事務局にお問い合わせ下さい。（電話 82-2512番）

(表)

(裏)

請 願 書	○○○○○ に関する請願
請願書 (代表) 住所 氏名	請願書の内容
w	平成 年 月 日 利尻富士町議会議長 ○○○○ 殿
紹介議員 (署名または記名押印)	

(陳情の場合は「請願」を「陳情」に読みかえてください。)

あなたの声を
議会だよりに!

議会・広報広聴特別委員会ではみなさんのお声をお待ちしております。

■宛先■

〒097-0101

利尻富士町篤泊字富士野6番地

利尻富士町議会事務局

TEL (0163) 82-2512

FAX (0163) 82-1253

E-mail

gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp

編集後記

平成24年、辰年も早1ヶ月が過ぎました。

今年は例年になく寒い日と雪が多い日が続いていますが、町民の皆様にはお元気で過ごしてのことと思います。

国会では、消費増税と社会保障制度の一体改革が議論されていますが、今後どのような方向性が示されるのか不安視する人が多数とされています。

世界情勢では、イランの核開発疑惑に關しEU諸国が原油の輸入禁止処置を発表し、アメリカも我が国対して同様の処置を求めています。国内の原油輸入量の10%がイランからのものであることを考えると、国内産業に大きな影響を与えることは必然であります。

若干明るい話題になるか分かりませんが、次期ロシア大統領が北方領土に対して、どのような施策を示すか見守りたいと思います。

今年も皆様のご協力のもと元氣な1年にしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

議会広報広聴特別委員会

- 委員長 田村 修
- 副委員長 米谷 篤
- 委員 前田 芳久
- 委員 伊藤 信勝
- 委員 黒川 健一